

## 第4回瑞穂町協働のまちづくり推進委員会

- 1 日 時 令和元年11月11日（月曜日） 18時30分から19時50分
- 2 場 所 本庁舎 1階職員休憩室
- 3 出席者 （委員）  
石川かず子、石川淳、小山裕紀子、田中幸男、中沢清、豆田和子  
（事務局）  
岡田弘喜（地域課長）、栗原康弘（地域課地域係長）、  
堂垣祐介（地域課地域係主任）  
（欠席者）  
井上祐輔、小松揚明
- 4 議 題 1 協働フォーラムについて  
2 その他
- 5 配布資料 1 次第  
2 協働フォーラムについて  
3 協働フォーラムチラシ
- 6 開会  
岡田地域課長
- 7 議題1 協働フォーラムについて

### ボランティア交流会の報告について

- ・内容は、ボランティア団体による民謡と漫談、小山係長による防災講座が行われた。また、グループワークで交流を図り、オリンピック音頭を全員で踊り、オリンピック機運を高めた。
- ・町で活動している団体を知れたことや、ボランティア交流会がどのようなイベントなのかを知ることができた。今後、協働を広げていくためには、様々なイベントやボランティア団体が活動しているところに参加し、連携をしていくことが大事だと思った。
- ・団体の名前は聞いたことがあっても、どんな方が活動しているかなど、実際に顔を合わせて話をしたことで、改めて分かった部分などもあった。
- ・団体が老人ホームなどで民謡を披露していることは知っていたが、実際に見られたことは良い経験となった。
- ・町で素晴らしい活動をしている団体を知れて良かった。また、防災講座は非常に勉強になった。

(中沢委員長から質疑) 町の職員が参加した時の、ボランティア団体の反応はどうでしたか。どうして役場の方が来ているのか疑問に思う参加者などはいましたか。

(栗原係長) 疑問に思う方はいましたが、協働推進委員会として来ているという説明をしました。また、役場の職員ということで、町のことを色々と聞かれたりしました。

(中沢委員長) 一般の住民の方は、どの部署がどんな仕事をしているのかは知らないのですが、役場の人に聞けばなんでも知っていると思われていますね。逆に、このような場所に出ていくことで、何かのきっかけになったりすると思うので継続して参加し、最終的に協働につながっていけば良いのかなと思いました。

#### 協働フォーラムについて (資料1)

- ・フォーラム開催日は3月15日(日)で決定。場所はけやき館となり、活動発表は多目的ホール、ブース展示は企画展示室となる。
- ・3月8日にひなまつりブースが終了となり、その片付けが終了し次第、企画展示室が使用できる。
- ・フォーラム構成は、1部2部と分けて考えるものとし、協働事例に関する発表は中沢委員長と井上委員が行うこととし、その他の発表については未定。また、ブース出展者についても未定。
- ・発表の順番は検討が必要となる。
- ・フォーラムの受付は、事務局で対応することとする。
- ・チラシを作成したので、意見等あれば事務局まで連絡をお願いしたい。

#### フォーラムについて

- ・事務局の発表は、最初に時間が短くてもあったほうが良い。協働の説明やフォーラムの経緯などを発表する。
- ・発表について、委員もしくは、委員の推薦などで発表していただける方がいなかった場合は、ボランティアを精力的に行っている団体を探して、今後協働につながっていく部分を模索した上で発表してもらうこともあり得る。例えば、1部は中沢委員長と井上委員が担当し、2部にこれから協働を始めようとしている団体が発表するということが検討する必要がある。また、協働にならなかった事例を紹介することも考えられて、協働にならなかった事例を聞いた後に、協働事例を紹介すると比較することができる。
- ・発表者を広報やHPで公募する方法があるが、例えば1月号の広報に掲載したとして、候補者がいても推進委員会で諮ってから、発表を依頼することになるので、時間的に難しい。また、HPだけで募集した場合には限られた町民しか見ない可能性があるため、広報とHPを両方活用した方が効果的と考えている。
- ・正副委員長と事務局で2部の発表をする団体を探し、もし見つかった場合には委員

に報告し、承認を経て決定とする。

- ・小松委員に発表していただけるかどうか打診する。
- ・町と関わりがあるような団体に発表の依頼をしつつ、その団体が困っていることも発表してもらい、それが協働につながればフォーラムの題材として適しているし、もし協働につながらなかった場合でも、そのあとに中沢委員長や井上委員の協働事例があることで、協働の仕組みを伝える良いイベントになると思う。完璧に仕上がって満足している団体よりも、停滞期や広がりを求めているなどの課題を抱えている団体に発表していただいたほうが良い。広報で募集すると、単純にボランティアをPRしたい団体が集まり収集がつかなくなることも考えられ、また、協働に関する発表という限定したテーマで募集すると、難しくて集まらないような気がする。
- ・困っている団体をボランティアセンターに聞きながらピックアップして、正副委員長と相談しながら、フォーラムに協力していただけるよう、依頼する。(子ども食堂、ほっとカフェなど)

#### 役割分担等について

- ・司会進行は小山副委員長、ブース出展者は豆田、小山、石川かず子、中沢・石川淳委員が出展。井上、小松委員には事務局が確認する。
- ・発表者については、今後検討していくが、見つからない場合は前回と同様となる。
- ・3月10日までに展示物を準備しておいて、いつでも展示できるようにしておく。展示中は、委員が企画展示室にいる必要はない。

## 議題2 その他

#### 委員の活動状況報告

- ・平地林は、11月17日9時から活動予定で、内容は落ち葉かきとうっそうとしている雑木林の手入れとなる。貴重な植物も発見されて、徐々に整備されてきている。

次回委員会は令和2年1月15日18時30分から、けやき館で開催予定。